

# 第5学年 総合的な学習指導案

指導者 小林茂晴

1 単元名 「田んぼの学校」～田んぼのはたらきを知り、米の価格について考えよう～

2 単元設定の理由

<単元について>

米どころである峡北地域の中でも、高根西小学区は米作りが盛んな地域として知られ、現在でも多くの水田が広がっている。児童の中にも様々な形で農業に従事している家が多い。しかし、自然とあまり関わらなかつたり、農業を手伝わなかつたりして、米作りについてあまりよく知らない児童が多くなっているのが現実である。

高根西小学校では、地域の方々とふれあいながら米作りを行う「田んぼの学校」の取り組みを始めてから15年目を迎える。地域在住の山本林仁氏を「田んぼの学校」の校長に迎え、毎年5年生が米作りを通して地域の方々とふれあいながら、収穫の喜びや苦労などを学んできた。今年度もこれまでの活動を受け継ぎ「田んぼの学校」に取り組んできている。

水田では、日本人の主食である米を生産することができる。また、自然のダムとして大量の水をためる役割もある。そして、そこには多くの生物が生息している。また、大量の水を溜めてあることにより天然のクーラーの役割も果たしている。その風景は、そこに生きる人にとって「ふるさと」を感じる情景であり、米作りを起源とする伝統文化が地域の生活の中で数多く受け継がれている。このように日本人にとって数多くの役割を持つ大切な水田であるが、産業として考えると生産コストに比べて米の価格は安く、この地域において平均的な水田面積での米作りでは、生活を支える収入にはならないのが現状である。それでも、地域の多くの方々は米作りを続けている。「先祖から受け継いだ田んぼを守る」「自分の食べる米は自分でつくる」など様々な思いの中で米作りを続けているが、多くの方が自分たちの米作りに誇りを持っている。また、栽培方法や販売など、様々な工夫をして米作りによる収入を増やそうという試みも行われている。

本単元では、4月より半年間取り組んできた米作りを振り返りながら、まず、水田のはたらきについて考えさせていく。米の生産以外の多くはたらきを知り、水田の大切さを学ばせていきたい。さらに、大切なはたらきのある水田で生産される米の価格について考えさせていきたい。米の価格の決まり方や現在の価格について知り、実際に自分たちが生産に関わった米の価格を考えることを通して、米農家の現状や金銭を超えた勤労の意義を学ばせていく。さらに産業として厳しい状況の米作りであるが工夫した栽培方法や生産組織、新たな販路の確保などに取り組む米づくりを知り、米作りの未来についても考えさせていきたい。

指導に当たっては、まず、本校の学習発表の場として毎年行われている「むらやま祭」の発表に結びつけていく。そのことを通して、子どもたちの意欲を高めていきたい。また、学習班や課題別グループで協力しながら、書籍・地域の方の話・インター

ネットなど、様々な方法で調べ学習に取り組むことにより問題解決力を高めていきたい。さらに、自分なりの根拠を持ちながら意見を発表し合う話し合い活動に取り組み、言語活動の充実を図りたい。

#### <金銭教育に関わって>

本単元では、米の価格の決まり方を理解し、自分たちが育てた米の価格を考える活動に取り組む。この学習は、金融教育の「経済や金融のしくみに関する分野」で、目標の「経済把握」に関係している。また、「田んぼの学校」に関わる地域の方々や米農家の思いをお聞きしながら、米作りへの誇りや未来に向けての希望を学習する。これは、金融教育の「キャリア教育に関する分野」で、目標の「働く意義と職業選択」、そして「社会への感謝と貢献」に関係している。

本校の金銭教育の視点である「ひと・こと・もの」を通して本単元を考えると、まず、米作りの中で地域の方々と多くの関わりを持つことができるため、「ひと」や地域とのつながりを実感することができる題材である。また、「もの」である米の価格を取り上げることにより、米の価格の決まり方を理解し、生産される米や金銭を大切にしようとする気持ちを持つことができると考える。さらに、米作りへの地域の方々の思いを知ることにより、働く「こと」の意義を問い直すことができると考える。

#### <児童の実態>

5年学級は男子19名女子17名計36名の明るく元気な雰囲気を持つ学級である。話し合い活動に関わり、発言を増やす取り組みを継続して行った結果、多くの児童が自分の意見を積極的に発言することができる。しかし、その内容は根拠があやふやだったり、他の意見に関わりながら発言する児童はまだ少ない。

春から子どもたちは、代かき、田植え、水生昆虫調査、田の草取りに汗を流し、10月には、稲刈り、天日干し、脱穀、粳すり精米を行い、多くの米を収穫することができた。米作りをする水田は、学校から徒歩5分ほどの所にある。水田を全面的に管理するのではなく、普段は水田の持ち主が管理している。日常的に水田を観察できないため各自がペットボトルを使った稲作にも取り組んできている。4月からの米作りでは、楽しく意欲的に活動に取り組む様子が見られた。多くの子どもたちにとって米作りは楽しい活動であり、マイナスのイメージはほとんど無い。

### 3 単元の目標

○米や水田の学習に、興味・関心を持って取り組むことができる。

<主体的、創造的、協同的に取り組む態度>

○米や水田について、書籍・地域の方の話・インターネットなど様々な方法で調査することができる。

<学び方やものの考え方>

○グループ学習や全体での学習において、異なる意見にも耳を傾けたり自分の考えを発表する中で、課題の解決に取り組むことができる。

<よりよく問題を解決する資質や能力>

○自分たちが調べたことをわかりやすく効果的に発表できる。

<よりよく問題を解決する資質や能力>

○米農家の米作りへの思いや挑戦を知ることにより、自己を振り返り今後の自分の生活に生かそうとすることができる。 <自己の生き方>

4 指導と評価の計画 14時間

時	目標	主な学習計画と内容	評価規準
1 2	田んぼのはたらきについて学習班で協力して調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼのはたらきを予想する。</li> <li>田んぼのはたらきについて学習班ごとに調べる。</li> </ul>	<p>態：米や水田の学習に、興味・関心を持って取り組むことができる。</p> <p>学：田んぼのはたらきを、書籍やインターネットを使い調べることができる。</p>
3	調べたことを発表し合い、田んぼのはたらきを明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「田んぼのはたらき」について、自分たちの予想と比べながら調べたことを発表する。</li> <li>田んぼのはたらきをまとめる。</li> </ul>	<p>資：自分たちが調べたことをわかりやすく効果的に発表できる。</p>
4	深く調べ発表したい課題を決め、調べたり発表する計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼのはたらきの中で自分が集会で全校に紹介してみたい内容を決める。</li> <li>課題グループをつくりグループごとに集会で紹介するために、さらに調べることや発表の仕方について計画を立てる。</li> </ul>	<p>態：田んぼのはたらきに興味を持ち、意欲的に調べようとしている。</p>
5 6 7 8	課題グループごとにさらに調べたり伝えたいことが効果的に伝わるように工夫した発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット・本・地域の方など様々な手段を用い自分たちしらべたい情報を集める。</li> <li>課題グループごと工夫した発表ができるように準備する。</li> </ul>	<p>学：田んぼのはたらきを、書籍やインターネットを使い調べることができる。</p> <p>資：自分たちが調べたことをわかりやすく効果的に発表できるように工夫することができる。</p>
9 10		<ul style="list-style-type: none"> <li>むらやま祭で各グループごとの発表を行う。</li> </ul>	<p>資：自分たちが調べたことをわかりやすく効果的に発表できる。</p>
11	米の価格についてくわしく知ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な銘柄の米の価格を知る。</li> <li>米の価格の決まり方を知る。</li> <li>「田んぼの学校」で生産した米の価格を学習班ごとに考えていく</li> </ul>	<p>態：米の価格について、興味・関心を持って取り組むことができる。</p> <p>学習班において、異なる意見</p>

		<p>ことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米を生産するためにかかる費用を知る。</li> </ul>	<p>にも耳を傾けたり自分の考えを発表する中で、課題の解決に取り組むことができる。</p>
12	米の価格を学習班で協力して話し合い考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の味比べをする。</li> <li>自分たちが生産に関わった米の価格を学習班ごとに根拠を持ちながら考える。</li> </ul>	<p>資：さまざまな情報から自分たちなりに根拠を持って米の価格を考えることができる。</p>
13	根拠を持った意見を出し合い、自分たちが関わって作った米の価格を決めることができる。米農家の思いを知ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちがつくった米の価格を決める。</li> <li>地域の方からお話しをお聞きし、通常の米の価格では、僅かな収入にしかないが、それでも米作りに取り組む地域の方の思いを知る。</li> </ul>	<p>資：異なる意見にも耳を傾けたり自分の考えを発表する中で、課題の解決に取り組むことができる。</p> <p>自：米農家の話を聞き、米作りへの思いを自分なりに考えることができる。</p>
14	工夫した米作りの取り組みを知り、未来の田んぼについて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習した、水田の役割や米作りの大切さ、厳しさを振り返る。</li> <li>米作りの取り組みについて知る。</li> <li>これからの米作りについて考える。</li> </ul>	<p>自：米農家の挑戦を知ることにより、自己を振り返り今後の自分の生活に生かそうとすることができる。</p>

## 5 本時の学習

(1) 日時 平成26年11月13日(木) 5校時(13:00～13:45)

(2) 場所 5年教室

(3) 目標

○米の価格について、根拠を持って意欲的に意見を発表することができる。

○山本さんの米作りへの思いについて、考えることができる。

(4) 展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点 ☑は金銭教育の視点	評価
導入	<p>1 今までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の質問に挙手して答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の価格の根拠となる条件を振り返る。</li> <li>米の価格の決まり方</li> <li>スーパーで市販されている米の</li> </ul>	

5分	2本時の課題をつかむ。	値段 肥料などの経費 味 形 ・課題を提示する。	
調べたことをもとに田んぼの学校でつくった米のねだんを決めよう。			
展開 30分	3 自分なりの根拠がある意見を 発表し合い、米の価格を考え る。 ・学習班ごとに自分たちの意見 を確認する。 ・価格を学習班ごとに発言す る。 ・賛成、反対など自由に意見を 発表する	金価格の根拠をはっきりとさせ る。 (諸経費 味 等級 人件費) ・値段は、意見を聞きながら変 更しても良い。 ・意見をまとめておおよその値 段に決定していく。 ・近い意見をまとめていくよう にする。 ・簡単に意見がまとまりそうな 場合は教師から子どもたちを 揺さぶる質問をしていく。 本当にその金額でいいの。 これで農家の方はもうけが あるの。 この金額で本当に売れるの。 ・一つに決められなくても時間 で話し合いを終える。	・自分なりの根拠 を持って、米の価 格について発言し ている。
まとめ 10分	4 「田んぼの学校」で指導して いただいた山本さんから米の価 格についての感想や、米作りへ の思いをお聞きする。	・児童が決めた価格に対応して お話をしていただく。 金収益について現在の稲作農家 の厳しさや、それでもなお多 くの方が作り続ける思いを話 してもらおう。 ・未来に向かい工夫した米作り をしている方についても触れ てもらおう。	
	5 山本さんのお話を聞いた感想 をまとめる。 ・感想をワークシートに記入す る。	・本時の学習を振り返る。 ・ワークシートに記入させる。	・山本さんのお話 の感想をワークシ ートにまとめている。

